

医療モール併設型のサ高住 介護サービスや介護施設には +αの付加価値が必要な時代に



※高齢者住宅新聞より「医療モール併設型サ高住」

介護事業者A社は入居者が活躍し、地域の拠点となる医療モール併設型のサービス付き高齢者向け住宅を拡大していく方針だ。

地域に開かれた拠点となるよう、1階には歯科・脳神経内科・泌尿器科の3クリニックのほか、薬局、イタリアンレストランが併設されている。また、敷地内には牧場もある。

かつての長屋に存在したコミュニティを目指している同施設では、入居者の個性や能力に合わせて、「仕事」を担ってもらうことで、役割や生きがいのある生活を提案している。

例えば、農家出身の男性入居者は、飼育担当として牧場で飼っているヤギの世話を担っている。餌やりや小屋の掃除が日々の日課で、通学路で牧場の前を通る子どもたちからは、「ボス」と呼ばれて慕われている。

入居者の2～3割程度が何らかの役割を担っているという。これらの仕事は、「業務委託」として入居者が行う。その対価として、現金または施設内通貨で「給与」が支払われる。

ヤギの飼育を担当している男性入居者の場合、毎月の収入は現金2万円・施設内通貨2万円の計4万円。門の開閉業務の場合では、週4回の担当で、5000円相当が施設内通貨で支払われる。

同社は、今後もこのようなサ高住の出店を進める方針で、5年間で8棟の展開を目指している。

介護サービスや介護施設の供給が飽和してきている地域も増える中、事業者に求められるのは、「差別化」である。質の高いサービスを提供することはもちろんだが、それ以外にもコンセプトや入居者への独自のサービスを提供することで、他の事業者との差別化を図るのはいかがだろうか。

～介護ビジネス研究会のご案内～

医療・介護・障がい福祉の経営者(幹部)のための隔月勉強会です。特別セミナーと勉強会(座学セミナーによる業界最新事例の+事例交換会)を基本とする経営塾です。経営者様が抱える問題・疑問及び、他社はどのようにして解決しているのかを共有する等、有益な情報をご提供して参ります。開催が近づきましたらDMでお知らせいたします。是非ご参加ください。ホームページでも随時情報を更新しております。

介護ビジネス研究会



岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当: 苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL: 0120-337-301

FAX: 0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kariya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kariya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要